

寺
ごよみ

四 月

一日 下村お講
一日 太子会
一五日 清掃奉仕
一六日 栗虫お講
一二日 お経会
一七日 連研（於真照寺）
二六日 仏婦連盟総会
二八日 花摘み
二九日 花の誕生会

花の誕生会

二九日九時 お寺の学校
十時 初参式
おつとめ
記念念珠
おはなし
縁日

冥加金三千円
申し込みは地区総代さん
又はでんわで
六五〇〇五五

寺報

善 巧

発 行

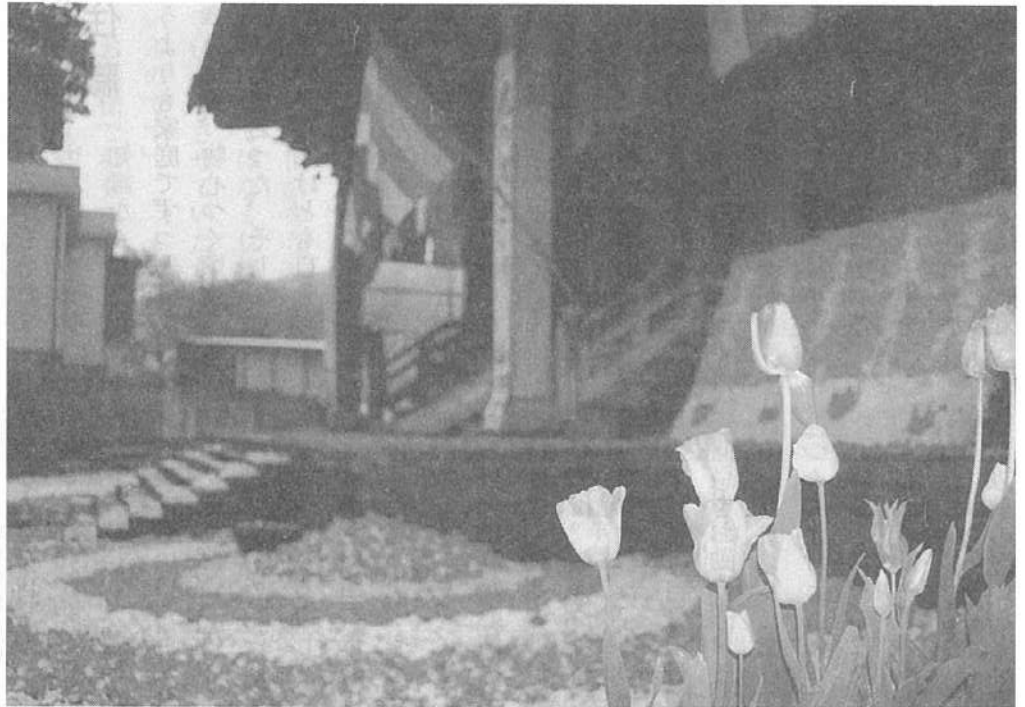
☎ 938-0862 富 山 県
下新川郡宇奈月町浦山497
白雪山 善 巧 寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール zangyou@p2342.msk.ne.jp

第25回

慶びの春 花の誕生会

四月二十九日

初参式・チューリップ・縁日



みごとなチューリップのお荘厳

不自由ということと不幸であることは意味が全く異なりますね。不自由を望む人はいないでしょうし不幸を願う人もないでしょう。だからといって、不自由と不幸は同じかというと、そうではないはずです。私事ですが、私の父は晩年失明し、眼の不自由を抱えてその生涯を終えました。眼の不自由は隠しようのない事実ではありましたが、不幸であつたかという話は別です。こんなことがありました。

ご門徒の法事に出かけた折、お斎（おとき）の席で隣に座られた、元校長であつたという親戚の方がこんな質問をされました。「お見受けた所大分眼がお悪いようですね」

「はい、今ではほとんど見えません」「そうですか。それはご不自由なことですね。でもあなたはお坊さんなのだから、信仰の力でそれは何とかありませんか？」

不自由ということ 不幸ということ

校長まで勤め上げられた教養人であるはずのこの方の質問の意図が、どこにあるのか明らかです。信仰の力でその不自由な眼が自由に見えるようになってこそ信仰のご利益であり、それが宗教のすくいなのではないかということでしょう。しばらく考えて父はこう問い返したそうです。

「わたしは不幸な人間に見えますか」「いや。目はご不自由なようですが、不幸を背負つたような暗さは感じられませんね」「あなたにそういつていただけたのなら、もう何とかなっているんですよ」

不自由であっても、不幸ではありませんと言い切れる世界を頂いていればこそでしょう。お念仏は逃れがたい厳しい事実の中に、意味と喜びを見出す智慧のはたらきとなって、私の上に躍動しててくださいます。

千福寺住職 高務哲量師

空華忌

花

空華忌講話 (4)

山本攝叡先生

行信教教授
定専坊住職



ここまで真宗の信仰を各地に根付かした力というのは何だっただんどうか。やっぱり具体的には『御文章』であり『御一代記聞書』の言葉だと思えますよ。ほとんど皆学校にも行かない、教育制度も何も整っていない、そんな時代に各家庭に必ず御文章があり、御和讃があり、朝晩拝読するという生活が根付いていたという事は、逆にそれによって言葉を覚えていったんで

しょうね。学校へ行つて、妙なつて言つたら怒られるかもしれないけど、変な知識なんかを習うよりも家庭ですつと御文章を毎日、物心つく頃から拝読しておつた、そして意味はわからなくても自分の耳の底に染み込んでいる、そういった言葉によって、やっぱりその人の一生というものは形作られていくという、意識して造つたんじゃないでしょうけども、それを作つていかれた蓮如上人という方は大変な仕事をなさつた方だったんでしょね。だから多くの方々が、御文章によって文字を覚え、言葉を覚えそして御文章の言葉によって自分の一生をつくつていく。横道ばっかりそれてますけどもね、私

はね、宗教というのは誤解を恐れずに言えば、やっぱり感情だと思うんです。感情というのは決して嬉しいとか、悲しいとかその時その時の喜怒哀楽じゃないんですよ。そうじゃなくて私が言う感情は、もつともつと大きな自分の一生を貫いて支配するような感情だと思えます。まあ情操と言つてもいいかも知れません。それはね、皆さん方もおそらくそういう経験もつていらつしやるでしょ。たとえば小さい頃、母親に育てられた思い出：やっぱり両親のうちでどちらかといつたら自分に温かい情操を植え付けてくれるのは母親なんです。ちよつと恥ずかしいですけどね、この十一月の末に私は自分の母親の三回忌をお勤めするんです。亡くなりまして、まる二年経つんですけどもね、こないにおじちゃんになりましてお母さんの思い出と言うのもおかしいですけどね、言葉以前の思い出というの

が自分の一生を貫くものがあるんですよ。私ね、小さい頃よくおねしょしたんですよ。(笑) まだ戦後間もない頃であんなに設備もにちよつと失敗しますとね、もうそのお布団で寝られなくなつてしまひましてね。母が文句も何も言わんと寝間着やらいろいろ着替えさせてくれてね、「寒いやろ、こつちおいで。」つて言つて隣に寝ている母の寝間に入れてくれるんです。冬の頃なんか着替えたりしてふるえるくらい足も冷たくなつて、そしたら「冷たい足やな」と言つて、母親が自分の足で冷たくなった足を暖めてくれるんです。そんな経験というのは、これは何とも言いようがないですよ。ただあの時の母親の足の暖かさというのが一生絶対に自分の頭からはなれるもんじゃありません。それはもう理屈で分析できるもんじゃありません。そういうことは。だから私はお

念仏の味わいというのね、先ほど私は宗教は感情じゃないかつて言つたのは、決して腹が立つとか今で言つたらムカツクとか切れるとか嬉しいとか、そういう感情の起伏をいうのではなくてね。もつともつと自分の人生で、言葉の理屈を超えて自分に影響を与えてくれるもの、自分の一生を貫いて自分を支配するようなもの、そういう世界に気付かされていくような大きな感情というものです。それが私やっぱり宗教が感情だと言いました意味なんですよ。だから妙好人の方々が長い長い年月の間お聴聞を重ねて：だからそれはやっぱり一朝一夕で出来るもんじゃなくて：長い間お聴聞を重ねていって、源左さんにしても最低十年かかられました。才市さんもそうなんです。才市さんだって、なかなか自分自身、その味わいというのが分からなかつたみたいですよ。才市さんの場合、源左さんよりもつ

と長かったみたいです。長い間かかってお聴聞されていつて、ようやく、なるほどという世界だったかな、という世界にいつか知らずのうちに気付いていける訳なんですよ。そして気付かれてから才市さんはああいう言葉をたくさん残していかれたんですね。だから才市さんの言葉というのにはね、あれは人に読ませるために書かれたんじゃないくて、とにかく自分の味わいを、即興でその場で、ぱっぱっぱつぱつと言葉に残されたんです。だから才市さんは無字や文盲でつていうけど、それともうも嘘みたいですね。あの方、場合によったら立派な筆跡でちゃんとした手紙や書き付けをされているんですよ。ただ無茶苦茶な当て字で才市さんがたくさん歌を残されたのは、あれは自分のところに浮かぶお念仏の味わいを、いま書き留めなかつたら、いまここで記録しておかなかつたらすぐに消え

てしまうという思いから、自分独特の筆記法、まあ、速記ですわ、速記法をあみ出された。当て字もあみ出されて、そしてぱっぱつぱつとその時その時の自分の信仰の味わいというのを書き付けられたらしいですよ。だから溢れるような思いが、ぱつと記録されたもので、それは決して人が読んでどうしようという意識されたものではなかつたみたいです。ですから今は源左さんにしても才市さんにしても、そして今読んでおります道宗にしてもですね、どうもお念仏の味わいというのは、何年も何年もかかって、大きな大きな感情として、自分の一生を貫くものとしてお念仏の味わいというものが、知らず知らずの間にこの身に染み込んでいかれた。そういうような一生を送られたからこそ、妙好人と呼ばれるような一生をこの方々は送られたんだと言うことが出来ようかと思うんですね。

「コア」発行「マツリカ」より転載

「冥福は祈らない」

若林 真人先生

著名人がお亡くなりになると、ニュース番組ではそのお方の経歴などが放送され、最後には決まってアナウンサーが

「冥福をお祈りいたします」と、告げることになっているようです。

「冥福」の「冥」とはどんな意味かというのと、「漢字源」によれば、①「形」くらい。②「二形」くらい。道理に

なく何もわからないさま。愚か。「冥愚」③「二形」奥深くて外からはつきりわからないさま。「冥冥」④「二名・形」死者の世界。あの世の。「対語」明。「冥福」「冥途」とあります。

「冥加」「冥利」という用例では、見えない世界から大きなおかげをいただくという意味でも使います。

さて、「冥福」とは冥途の福ということで、冥途と

は、暗い迷いの世界です。生きている人間の世界は明るい世界、その境界線を越えた遠くで暗い迷いの世界なのですね。「冥福を祈る」とは、「どうか迷いの世界で、せめて幸せがありますようにと明るい世界から祈っておりますよ」という意味なのです。

ここには、知らず知らずのうちに、亡きお方を迷いの存在とし、幸薄き身とする見方が隠されています。

お浄土という世界に往生されたお方にとっては、ふさわしくない言葉なのです。お浄土は悟りの世界です。

無量光明土と申します。光り輝く悟りの世界なのです。幸せを祈るところか、お悟りの佛となられて、自在無碍の活動でこの迷いの世界にはたらし続けてくださるのです。

お浄土という世界観を持たないお方には、死後は暗い迷いの世界でしかないのでしょう。それが端的にあらわれるのがお盆の行事です。マスコミが流すお盆の

ニュースには、またまた決まり文句があるようです。

たとえば、毎年テレビに映る風景の一つ、京都東山の大谷本廟のお墓参り。暑気を避けた夕暮れに、ゆかた姿の女性がお参りされている。こんな映像に重ねて、アナウンサーは「先祖の霊を慰めました」と、困った言葉を添えられます。

慰めねばならない霊とは、何ですか。迷いの存在ということでしょ。ね。なんと無礼な。お浄土の佛さまとなられたお方には無用のことです。

「冥福を祈る」とか「霊を慰める」とか、方向が違っているのです。私が何かをしてあげる、そんな錯覚があるでしょう。亡きお方は阿弥陀佛の願いによって佛さまとなられて、今この私にはたらし続けていてくださる。その大きなおはたらきを頂くばかりなのです。そのお札の姿がお墓参りではありませんか。

願われているのはこの私なのですから。

成人式 おめでとう

1/4

すっかり大人っぽく(?)
なった雪ん子OBが、お仏
前で成人を迎えさせていた
だいたことを奉告御礼しま

した。人として生まれて二
十年、沢山の方々のおかげ
があつてこそこの今日の命で
あることを心に刻みました。



お説教と蕎麦とマジックの会

2/4

毎月十七日夜のお経会の
ご講師高務哲量先生のお寺
で二月四日「お説教とマジッ
クの会」が開催されました。

おときの「越前そば」の魅
力もあいまって、お経会と
花の会がおまいりに出かけ
ました。あいにく高務先生



はお葬儀の為東京へ。少し
でもお役に立てばと、お説
教は高島さん親子が、お説
教は坊主が勤めさせていた
できました。

蕎麦を育てることからは
じめられたご門徒さんに打
ち方、のぼし方、切り方を
習いました。できたてのお
そばのおいしかったこと。
やっぱりそばは何といても
越前、おろしそばが一番。
懇切なおもてなしをうけお
土産までいただいて一同大
満足。帰りは吉崎御坊にお
まいりしてきました。

切り方を教わる高島さんの
真剣な顔



黒西組仏婦連盟

十周年大会

3/10

三月十日、黒西組仏婦人会連盟十周年記念大会が荻生称名寺で賑々しく開催されました。橋照子副会長が式典司会。仏旗旗手沢田みさを会長。献花大藪実子菊地れい。献灯野畑みのり野島よしえ（敬称略）。神子久美元会長は招待者として



て参加しました。

お勤めは六人の女性僧侶が黒衣記念五条で出勤。開会式の後の記念法話は氷見の圓山洋子先生の「いかにこれ」。

午後の総会では田中静代さんが会計報告。アトラクションでは雪ん子劇団が大活躍、満堂の参拝者は笑いと涙にわきました。

善巧寺仏婦からの参加は 浦山・大橋・栃屋・下村・下立・生地・東狐・上野など各地から三十八名でした。

第四回カラオケ

2/25

二月二十五日、雪のちらつく日曜日、第四回カラオケが行われました。親子三代そろって参加される家族

や和服で民謡を踊る方もあって盛り上がり、外の雪も何のその、熱唱がつづきました。



総 代 会 3/18

(総代会仏教婦人会お経会)

善巧寺総代会が三月十八日午後二時開かれしました。

総代会からの出席者は内

山・愛本新・浦山・下村・

板屋・熊野・浦山新・上野・

板屋・東狐・板沢・中陣地

区から二十二名、仏教婦人

会から二名、寺方八名、計

三十二名の参加でした。

野畑総代の進行で始めら

れ、議長に嶋田久之総代が

選ばれました。議事に入る

前に、寺から住職のメッ

セージ(寺報「善巧」98号

に掲載)が読み上げられ、し



野畑一雄責任役員

新総代紹介



野崎 斎治(愛本新)



中林 昌子(下立)



有馬 文義(浦山)



新保 政二(下村)



橋 弘(下村)



板川 梨(上野)



開沢 國雄(板沢)



島田 信夫(板沢)

ばらくは坊守が住職代理を勤めることを了承しました。

十二年度行事報告、会計

報告を了承。川瀬久義総代

から監査報告がありました。

今年度行事予定、予算案も

了承。

主な決議事項は次の通り。

◎清掃奉仕を年間予定の中

にのける。(あらかじめ予

定にのけておきたい)

◎現在の本堂の雪囲いでは

不完全なので、応急手当て

の必要がある。

◎行く行くはアルミサッシ

なども考えるべき。

◎建物の管理に目を配るた

めの営繕委員会を作る。雪

囲いの件はその委員会で考

える。

◎お講の時は必ず総代がお

参りしてお焼香盆を回す。

◎清掃では総代がガラスの

窓拭きを担当する。

平 成 13 年 行 事 予 定

月	行 事	講 師
1 月	修正会、かるた会、門徒報恩講(栗虫)、御正忌報恩講、仏婦連盟新年会	若林眞人先生 14年三崎霊証先生
2 月	門徒報恩講(三口市・生地・荻生・下立・舟見入善・泊・板屋・熊野)、カラオケ	
3 月	門徒報恩講(浦山)黒西組仏婦連盟10周年記念大会10日、総代会(仏婦、お経会含む)18日24雪ん子劇団春の公演	
4 月	11太子会、29花の誕生会、春の清掃奉仕	
5 月	21~23行信教校専精舎夏講参拝	
6 月	12野休み落語会	
7 月	祠堂会前の清掃奉仕、16~19 祠堂会	高務哲量先生
8 月	8雪ん子広島公演、13青年盆会、15子供盆踊り16盆会、25雪ん子劇団公演	
10月	報恩講前の清掃奉仕、ゴルフ大会?、報恩講門徒報恩講(富山・東狐・青木・田家・窪野経田・柳沢・新浜、上下飯野・高島・板屋)	川崎順正先生
11月	4~5 空華忌門徒報恩講(上野・出・魚津・中新・中陣・板沢浦山新・石田)	高田慈昭先生
12月	(中の口・赤田・愛本新・大橋・下村・下立愛本内山・赤田・音沢)清掃奉仕、もちつき、除夜会	

1 日、1 6 日	お講	善巧寺法輪寺照行寺
1 7 日	十七夜お経会	高務哲量先生
第 1 火曜日	花の会	坊守
黒西組連続研修会(4 期)		黒西組住職若院

◎寺則のコピーを全総代に渡す。
その他、昨年勇退された鬼原勝次責任役員の後任が

まだ決まっていなかったの
で、住職代理から野畑一雄
総代が推薦され、全員一致
で承認しました。また、本

山に届ける総代表には川
瀬久義、嶋田久之、森岡昭
二、二口実、野島義春が選
ばれました。

総代辞任のご挨拶



浦山 野島 重一

私事この度心身とも老衰のため総代の職を全うすることができないと判断したので、寺方とも相談して辞任することにいたしました。

公私にわたり支援くださいました門信徒の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

第二十世住職が家まで来て「総代の印だよ」と式章を授けてくださいました。

あれから七十七才の今日まで二十余年総代を勤めさせていただきました。その間

これという仕事もできませんでした。第二十一世住

職にもいろいろご指導を受け、先輩の榎さん鬼原さん

中山さん菊地さん沢田さん

森岡さんには特に親しくしていただきました。

「思いつくとして、何回かの本堂の修復、特に門徒会

館の新築、鐘樓の改築で会計を担当したことです。」

お寺から選ばれて喜沢の佐々木さん浦山の中山さん本波さんと共に門徒推進員の研

修も受けさせて頂きました。

心に残っているのは富山の別院でのご講話です。

「今ここで生きている私が仏にさせて頂きたく教えが仏教である」

「私たちがお参りに寺へ寄せていただけるのも自分の力ではなく阿弥陀様のお力によるものです」

「お寺のお世話をさせていただくのではなく仏様のお手伝いをさせていただいて

いるのです」 お陰様で私も在任中お寺の行事には家内ともども寄せていただきました。

最後に次代の皆さんが、ますます善巧寺さんの護持発展に尽くしてくださいさるようお願いします。総代を退かせていただきます。身

体の及ぶ限りお参りさせて頂きたいと念じております。

平成12年度善巧寺一般会計決算

(収 入)	(予算)	(決算)	単位: 円
1. 繰越金	103,862	103,862	
2. 布施収入	10,000,000	9,957,257	
年中 行 事	1,300,000	1,566,457	祠堂会・報恩講等
門 徒 法 要	8,700,000	8,390,800	門徒法事懇話及び賽銭
3. 寺 費 入	5,000,000	5,034,000	
4. 雑 収 入	196,138	375,000	本山より助成など
合 計	15,300,000	15,470,119	
(支 出)	(予算)	(決算)	
1. 維持費	2,500,000	2,655,868	法人の活動の為の費用
宗 派 課 金	400,000	249,260	本山賦課金・教区・組費
公 租 公 課	150,000	79,000	法人負担の自動車税等
営 繕 修 理 費	1,400,000	1,738,504	余間床修理・保守点検等
保 険 費 料	550,000	589,104	建物更生共済
2. 運営費	5,200,000	5,038,682	寺院活動の為の費用
教 化 費	950,000	952,892	寺報4回・施本等
法 要 費	1,250,000	1,589,686	法要の為の供物・法札等
会 議 費	100,000	99,309	茶菓一式
門 徒 接 待 費	500,000	437,230	お祝・贈い記念品・食事
寺 務 費	500,000	127,120	事務用品・切手等
管 理 費	1,500,000	1,517,445	光熱費・ガソリン等
専 門 教 育 費	300,000	305,000	宗学・教学聴講等
交 際 費	100,000	10,000	火事見舞い
3. 人件費	7,200,000	7,200,000	衆徒(善巧寺勤務)給与
4. 予備費	400,000	450,000	土蔵回り修繕
合 計	15,300,000	15,344,550	
* 差 引		15,470,119 - 15,344,550	=125,569

平成13年度善巧寺一般会計予算

(収 入)	単位: 円
1. 布施収入	10,000,000
年中 行 事	1,500,000
門 徒 法 要	8,500,000
2. 寺 費 入	5,000,000
3. 雑 収 入	378,431
4. 繰越金	121,569
合 計	15,500,000
(支 出)	
1. 寺院維持費	2,800,000
宗 派 課 金	350,000
公 租 公 課	150,000
営 繕 修 理 費	1,700,000
保 険 費 料	600,000
2. 寺院運営費	5,200,000
教 化 費	1,000,000
法 要 費	1,500,000
会 議 費	100,000
門 徒 接 待 費	500,000
寺 務 費	300,000
管 理 費	1,450,000
専 門 教 育 費	300,000
交 際 費	50,000
3. 人件費	7,200,000
4. 予備費	300,000
合 計	15,500,000

寺
ごよみ
六月
一日 東狐・上野お講
三日 仏舎利塔法要
二日 野休み落語会
一六日 音沢お講(三)
一七日 お経会
一九日 連研(法盛寺)

寺
ごよみ
五月
一日 音沢お講(一)
二三日 仏教団花まつり
一五日 連研(光園寺)
一六日 音沢お講(二)
一七日 お経会
二二日 専精舎参拝
二三日 組内団体参拝
二八日
二九日

移りゆく車窓に梅の
おぼろかな
息つめて見上ぐる空や
花の傘
喜子

第二十五回

花の中の誕生会

四月二十九日 十時

赤ちゃんが生まれたらまずお寺で初まいり。人として生まれたご縁を感謝し、いのちの尊さを味わいましょう。

冥加金三千円
お申し込みは
二十六日まで
六五—〇〇五五



第二十四回

野休み落語会

六月十二日 PM七時半

会費 二千五百円

永 六 輔

柳家小三治

入船亭扇橋

入船亭扇辰

ゲスト

やなぎやこゆき
柳貴家小雪 (太神楽)



専精舎と

本山参拝

五月二十一〜二十三日

専精舎 講義、会読、法話
本山 ご晨朝 (帰敬式も可)
京都 寺院参拝など
会費 二万円ほど

☆お誘い合せお申し込み下さい



黒西組団体参拝参加者募集

組内四ヶ寺 (順正寺・真照寺・発願寺・善巧寺) 合同
日時 五月二十八〜二十九日

参拝 板敷山大覚寺・稲田西念寺

河合枕石寺・河和田報仏寺

他に益子焼き窯元センター偕楽園 (徳川博物館)

参加費 三万六千円

☆早めにお申し込み下さい

百号記念にあなたの一言を

此の寺報『善巧』は次回でなんと百号になります。月日の経つのは本当に早いものです。釈隆弘が手掛けた回数が五十七回。その後を受けて百号にたどりつきました。そこで皆さまにお願いです。

◎百号記念のメッセージを送って下さい。

字 数 百〜二百字 締め切り 六月十日
郵送・ファックス・メール、何でもけっこうです

合 掌

昨年は二十余年四十余年お寺とともに歩まれ、護持発展に尽くされた総代さん達が退かれました。寂しいかぎりです。七面にご紹介の野鳥さんは、昨年なくなつた奥さんのはつえさんと共に、ご夫婦で骨身を惜しまず尽くしてくださいました。心からお礼申します。

◆ ◆ ◆
神子巧さんに長男周太郎くんが誕生しました。お顔の紹介は次回になりますが、賑やかになるのは嬉しいですね。

◆ ◆ ◆
善巧寺は：住職は本山の勤式指導所に通います。有花は二年ぶりに帰ってきました。早速、雪ん子の春の公演や鳥取公演のため、その指導に明け暮れています。お寺もまた賑やかになりますよ。どうぞお越しください。

